

くりやま議だより

No. 179

令和6年
5月1日
発行



情報発信プランナー

地域おこし協力隊 西村きやかさん

Topic 01

予算審査特別委員会

Topic 02

5人の議員が一般質問

Topic 03

議会報告会

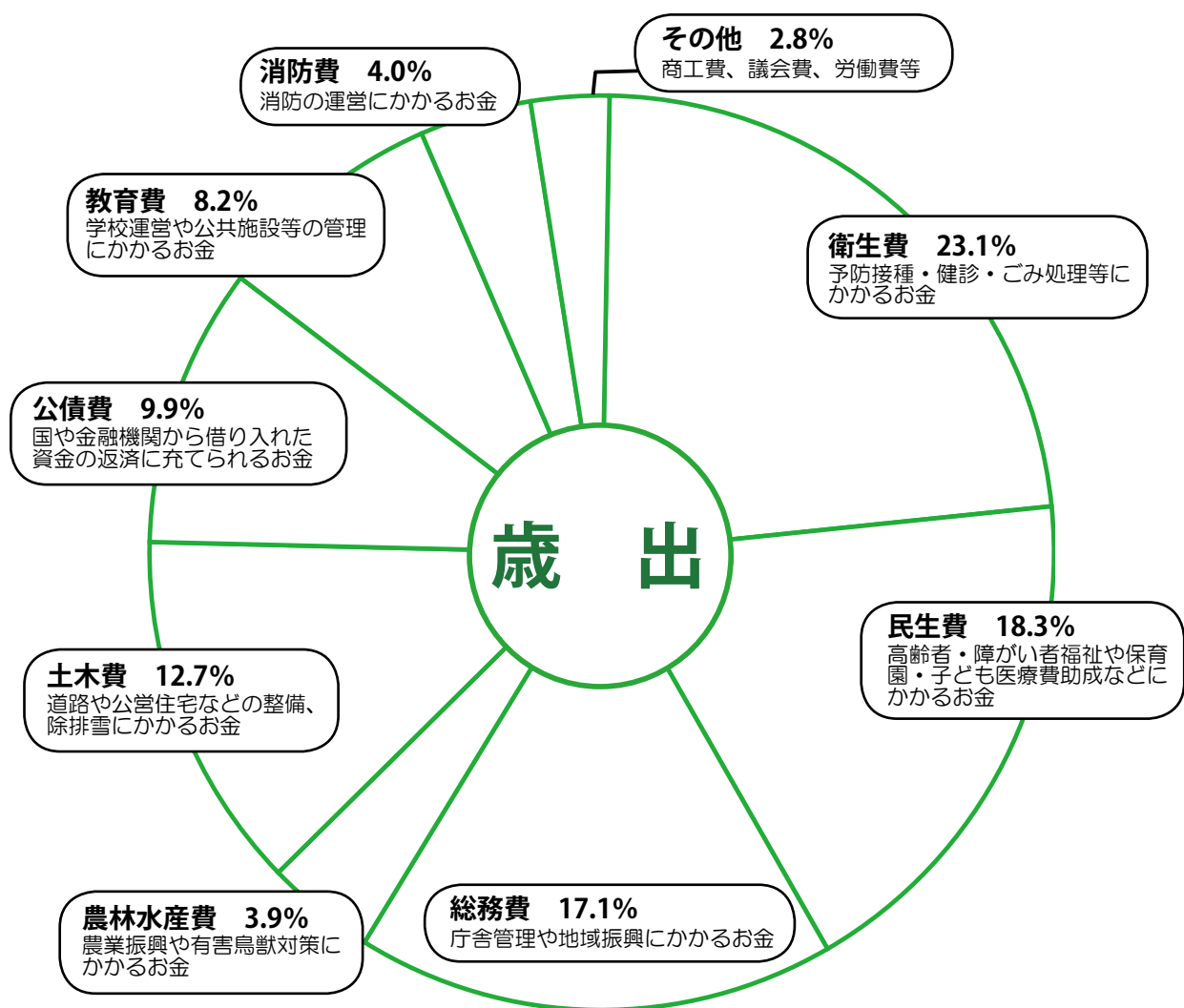


栗山町議会 HP

9,649万円

(前年比 +6億949万7千円：+3.8%)

「みんなが元気なまち」 実現にむけて



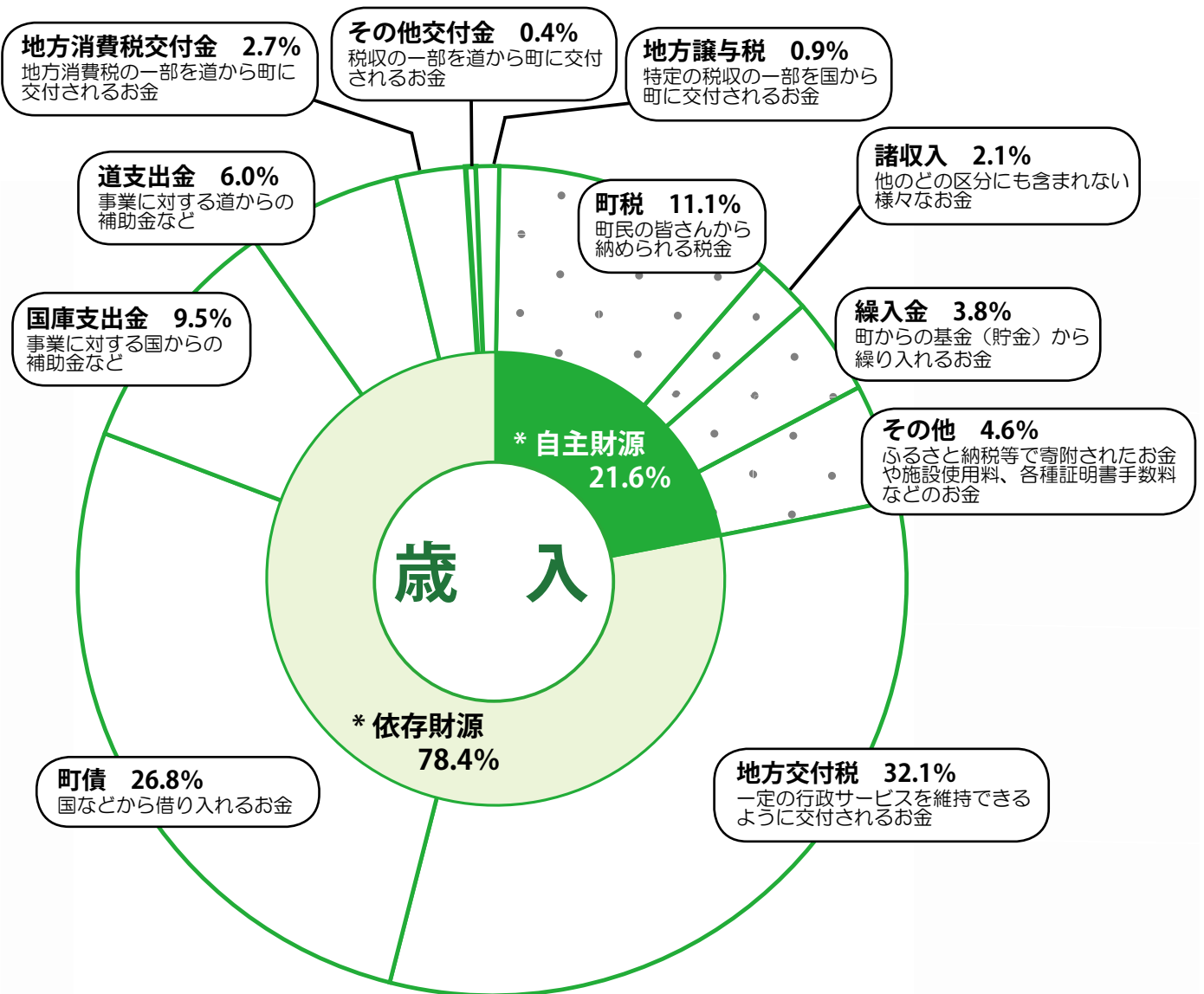
一般会計 114億6,200万円 (+11億5,100万円：+11.2%)

特別会計 32億7,179万円 (△5億3,467万円：△14.0%)

事業会計 18億6,270万円 (△683万3千円：△0.4%)

過去最大 165億

令和5年3月定例会議において、令和6年度各会計歳入歳出予算が提案されました。これに伴い、各会計予算審査特別委員会を設置し、特別委員会に付託して審査をすることを決め、3月15日、18日、19日の3日間の集中審議ののち、本会議において採決を行った結果、**9つすべての会計を可決**しました。



解説

* 自主財源とは

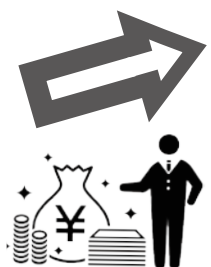
自治体が独自に確保できる財源。
町税、使用料、手数料、寄附金など。

* 依存財源とは

自治体が自由に使えるお金（一般財源）のうち、
国や道から与えられるお金のこと。

依存財源 *

昨年と比べて…
上昇



令和6年度の主要事業をピックアップしてお知らせします。

詳しい予算状況については、冊子「知っておきたい！まちの予算」をご覧ください。町ホームページに掲載されています。



町 HP 予算概要 QR

Ⅳ. 産業

森林空間の新たな活用
1,382万5千円

魅力ある商店街づくりの推進
975万3千円

Ⅴ. 都市基盤

公営住宅の整備・改修
5億3,199万6千円

町道の道路環境の維持・向上
1億5,946万円

Ⅵ. 地域経営

コミュニティ放送局を活用した
町民との情報共有や町外への情
報発信の充実
3,872万3千円

職場・地域等における
女性活躍・男女共同参画の推進
31万4千円

質 疑

ささき まなぶ
佐々木 学 町長

基金を確保・維持しつつ、
計画事業を着実に推進していく



今後の財政収支の 見通しは

齊藤義崇委員 第7次総
合計画の令和6年度予算
は130億円と考えられ
ていたが、予想以上に歳
出予算を抑制できた要因
について、その根拠と今
後の財政収支の見通しに
ついて見解を伺いたい。

町長 主な要因は、栗山
赤十字病院改築等事業の
事業費で33億7770万
円を見込んでいたが、起
債財源確保の観点から事
業費の平準化を行ったこ
となどにより、13億円の
減額となったことによる
もの。

今後の財政収支の見通
しについては、大型事業
となる栗山赤十字病院改
築等事業が令和8年度ま
で続くが、本年度末まで
に約7割の事業予算を確
保できる予定であること
から、翌年度以降の事業
費については圧縮できる

見込み。財政推計におい
ても、当面は大型投資事
業がないことから、毎年
100億円前後の予算で
推移していくものと考え
ている。

令和10年度以降、栗山
赤十字病院等の起債償還
が始まることから公債費
の増額など、一時的に財
政調整基金からの繰り入
れによる財政運営が見込
まれるが、健全財政を維
持できるものと考えてい
る。

財源が起債に 依存しているが

齊藤義崇委員 事業別
シートの説明と質疑か
ら、各事業において計画
より当初予算が大幅に増
額したものも多い。財源
を起債に依存するものが
多い傾向に感じるが、健
全な財政運営の視点か
ら、その見解を伺いた
い。

I . 生活環境

消防車両などの更新・整備
9,785万円

地球温暖化対策の推進
407万4千円



に注目！！

「みんなのお金」の使い方

II . 教育

栗山高校の生徒確保と
希望進路への支援
2,445万9千円

学校教育における ICT
利活用の推進
601万6千円

III . 医療・保健・福祉

栗山赤十字病院改築事業の推進
20億7,770万円

ケアラー支援の充実
481万3千円



さいとう
齊藤

よしたか
義宗 委員

総括

財政運営について 今後の見通しは

町長 当初予算の段階において、情報収集に努めながら可能な限りの予算計上は行っているが、近

齊藤義宗委員 過去5か年の予算・決算の分析結果から、その差異は増加傾向である。予算実績管理の観点から、現状認識と今後の財政運営の見通しについて、予算を総括し、見解を伺いたい。

今後の財政運営 の見通しは

町長 各事業において人件費や物価高騰などを要因として、計画より増額となっている事業もあるが、総体的には事業内容の見直しを含め、適切な事業費計上に努めた。また、各事業の財源に關しては、一般財源の抑制や世代間の負担の均衡を図るため、地方交付税措置の有利な起債を積極的に活用している。



解説

①起債とは

財政資金や事業資金を調達するために債券を発行すること。

②予算実績管理とは

予算と実績を比較して、原因を分析・改善していく予算管理の手法の1つ。

また、予算実績管理の観点では、適宜事業の進捗状況や予算執行の適正管理に努めている。近年は当初予算額と決算額との差異が増加傾向にあるが、長期的な財政推計により、基金を確保・維持しつつ、財政の健全性を保ちながら、第7次総合計画の計画事業を着実に推進していきたいと考えている。

年の経済対策をはじめ、国の補正予算に対応する事業など、新たな財政需要に係る予算については、都度、補正予算において対応している。

廃棄物処理収集 運搬委託

藤本委員 廃棄物収集運搬等業務委託料は、当初計画より増額しているが要因は。また、今後の展望は。

環境政策課長 当初の計画では、堆肥化施設に関わる4名分の人件費を減らして計上していた。

令和6年度からは千歳市にある焼却施設へ運搬するように変わるため運転士のための計上だったが、現場の聞き取り等を行い、千歳市までの運搬補助員として車両2台分の2名、環境センター内の日常業務における作業員としての1名、計3名の増員が必要とのことで増額となっている。

今後の展望については、経費を抑えることを引き続き考えて行く。

産後ケア事業

重山委員 産後ケア事業の内容と、利用見込み人数は。

住民保健課長 里帰りしないで出産する方からの要望もあり、施設に宿泊してもらい行う。宿泊することにより、心身の回復や育児不安の軽減などのために利用してもらう。

助産師が行う内容は、宿泊型だけでなく産後ケア全体についてだが、産後の身体的、精神的ケア、適切な授乳ができていくか、育児の支援等を行う。

予算は約30名分計上している。



きになる!!

★ 予算審査特別委員会の中で、議員が「きになる!」と質疑をしたものについて抜粋して紹介します。すべての質疑については、議会HPで録画配信を行っておりますので、そちらをご覧ください。



誰もが安心して子育てをできる町に

救急医療体制 確保補助金

齊藤義崇委員 救急医療体制等確保補助金が大幅に増額された理由は。

福祉課長 栗山赤十字病院の救急医療体制が、コロナ禍以降まずは検査をするため、人的、時間的なものを要していることもあり、その部分の費用が増えている。

また、リウマチ科、麻酔科等専門の科の機能維持や訪問看護事業についても新たに計上している。

次年度以降も、同額程度の補助金額を見込んでいる。



栗夢プラザ 運営補助金

鈴木委員 栗夢プラザ運営補助金について、賑わいづくりが目的だと思うが、その効果として来館者数の伸び率等はどうかになっているのか。また、商店街は努力をしていると思うが、町としてのサポートはしているのか。

ブランド推進課長 来館者数は令和4年度の目標値は2万3000人だったが、実績は1万6742人だった。

コロナ禍の影響もあり、平成31年から令和2年にかけては来館者数は減っている。

今年度はゆつくり市やドリンクラリー等の事業の実施には、町として検討の段階から携わりながら、賑わいを増やしていきたいと考えている。

FMラジオ 進捗状況

端委員 くりふとの横にアンテナが立ったり、開局にむけたカウントダウンイベントが企画されているが、FMくりやまの進捗状況と、ラジオの配付時期は。

ブランド推進課長 FM

くりやまについては3月7日に北海道情報通信局より予備免許が交付された。栗山の周波数は78.8メガヘルツ。今後はこの周波数を送信機に埋め込む作業や、ラジオに登録する作業があり、その後試験放送を行い、本免許の交付という流れになる。

ラジオの配付は登録作業が終了してからとなり、開局は5月を目標としている。

合葬墓整備の検討

置田委員 合葬墓について、進捗状況は。

環境政策課長 今年度はまずアンケートをとり、近隣の合葬墓の状況等を視察予定。整備についての方向性をこれから検討していく。

佐藤委員 合葬墓に関するアンケートについて、郵便料が少ないのでは。

環境政策課長 20歳以上の栗山町民を無作為で抽出する。アンケートの郵便料としては1000通分を計上しており、返信は500通を見込んでいる。アンケートは10月頃発送、11月末を締め切りとして、12月中にはまとめたいと考えている。

令和6年度予算 ココが



令和6年度予算審査
録画配信 QR



コロナ禍を乗り越え、街に活気を取り戻すために…

職員の資質向上

齊藤義崇委員 職員の資質向上のための研修について、職員全体の士気高揚に繋がるような事業計画になっていないのでは。

総務課長 人材育成基本方針が国からも新しいものが示された。それに向かって職員の見解等も反映させて進めていく。人事評価についても、将来的には手当に反映させていく。評価の在り方、受け方も含めて、研修を進めていく。



討論

一般会計予算

国民健康保険特別会計予算
後期高齢者医療特別会計予算

反対

重山委員 後期高齢者医療保険料が上がっている。物価は高騰しているが、年金は実質削減されており、周りの高齢者は冬も灯油代を節約し苦労していると聞く。

安心して暮らしていく政治に切り替えるべきであると考え、後期高齢者医療に関わるすべての会計予算に反対する。

賛成

齊藤義崇委員 一般会計予算については理にかなった組み立てとなっている。また、制度については様々な考え方があがあるが、市町村は、国や道の制度を遵守しなければならないと考え、賛成討論とする。

3月定例会議

3月5日～21日

¥

補正予算

町道除雪委託料増額補正

令和5年度予算

▼一般会計

34億4675万4千円を追加し、予算総額を149億2590万8千円とした。

★質疑あり★

町道除雪委託料

6127万円

担い手確保・経営強化支援事業補助金

5321万円

住民基本台帳システム及び戸籍附票システム改修

611万円

ごみの分別変更に伴うごみステーション分別内容パネルの更新

131万円

令和6年度予算

▼一般会計

歳入歳出それぞれ14億8618万8千円を減額し99億7581万2千円とした。

その他の補正予算

▼栗山町国民健康保険特別会計

高額療養費の実績見込みによる追加

1000万円

▼北海道介護福祉学校特別会計

非常勤講師謝礼の実績見込みによる減額

△84万円

照明LED化工事の入札執行残による減額

△8万円

▼栗山町介護保険特別会計

第1号生活支援事業配食サービスの実績見込みによる減額

△250万円

▼栗山町後期高齢者医療特別会計

北海道後期高齢者医療広域連合負担金の確定による減額

△1174万円

▼栗山町住宅団地造成事業特別会計

中里住宅団地造成工事の入札執行残による減額

△178万円

▼栗山町工業団地造成事業特別会計

第5工業団地造成工事の実績見込み及び分譲地内道路工事の取り止めによる事業費の減額

△2億2791万円

★質疑あり★

▼栗山町水道事業会計

北海道市町村職員退職手当組合負担金負担率変更による減額

△193万円

▼栗山町下水道事業会計

下水道管理センター機器更新工事費の確定による減額

△5956万円

質

疑

重山議員 移住体験ツアーが中止になった経緯は、また、移住体験に参加後、実際に移住した方はどの位いるのか。

若者定住推進課長 年2回の予定で、1回目は参加者がいなかったため中止、2回目は参加者の体調不良により予定が短縮された。

移住者の人数については、移住体験をされた方

ではないが、今年度は14から15名位。

斉藤隆浩議員 第5工業団地の分譲地内道路工事を取り止めた詳細は。

建設課技術長 当初は他の企業等がある場合は区画を分けることができるように予算計上していたが、今回は一区画の造成となった。

人事案件

▼固定資産評価審査委員会委員

令和6年3月31日をもって任期満了となる倉橋強氏を引き続き選任する。

任期…令和6年4月1日
～令和9年3月31日

介護保険料の段階追加と 保険料額の変更

▼栗山町介護保険条例の

一部を改正する条例

令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする第9期介護保険事業計画の策定に併せ、介護保険料を以下のとおり変更するとともに、新たに第10段階から第13段階までの4段階を追加した。また、公費負担により軽減している第1段階から第3段階の保険料額を以下のとおり改めた。

段階	令和5年度	令和6～8年度
第1段階	18,500円	16,900円
第2段階	30,900円	28,800円
第3段階	43,300円	40,600円
第4段階	55,700円	53,400円
第5段階	61,900円	59,400円
第6段階	74,200円	71,200円
第7段階	80,400円	77,200円
第8段階	92,800円	89,100円
第9段階	105,200円	100,900円
第10段階	—	112,800円
第11段階	—	124,700円
第12段階	—	136,600円
第13段階	—	142,500円

職員のパソコン 議場へ持ち込み可能へ

▼栗山町議会会議規則の

一部を改正する規則

町議会ではICT化推進のためタブレットを導入し、ペーパーレス化を図っているが、本年1月より、庁舎内のペーパーレス化、DX推進のため、職員のパソコンをノートパソコンへ随時更新しているため、本会議や委員会等で活用できるよう、規則を一部改正した。



ノートパソコンの導入により議案もペーパーレスに



規則・条例

3月定例会議では、全12件の規則・条例の改正が提案されました。その中から2件を解説！



その他

▼町道の認定及び廃止

中里8号線、中里9号線及び中里10号線の3路線理由・新たに整備した中里住宅団地内の道路町道実延長…

30万2999.39メートル(310.08メートル増)

▼令和6年度一般財団法人栗山町農業振興公社事業計画の報告

①農地流動化意向調査を行い、農業委員と連携し、積極的な農地流動化を図っていく。

②離農農地等を一時的に買い入れし、中間保有することで、担い手や新規就農者等への農地流動化を図っていく。

③意欲と能力の高い担い手の確保と、地域リーダーの育成を図るため、若手農業者等を対象に、実践的かつ総合的な支援事業を実施していく。

④スマート農業の導入による農作業の省力化やコスト低減を目指し、ICT農業機械等の導入を引き続き支援していく。

⑤第5期栗山農業ルネッサンスに基づき、農業農村振興に係る課題解決のため農業振興推進委員会において検討協議し、栗山町、中山間地域等推進協議会並びに多面的機能推進協議会からの負担金に基づく農業振興事業を実施していく。

⑥北海道大学農学部による農業農村調査の受入れや地域懇談会の開催等、農業振興や農村の活性化に関わる取組を引き続き実施していく。



3月定例会議
賛否の公表QR

議 件 名	結果	齊藤	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	斉藤	端	藤本	鶴川
令和6年度栗山町一般会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/
令和6年度栗山町国民健康保険特別会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/
令和6年度栗山町後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/
請願第1号 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願	不	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	/

可：可決 不：不採択 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権
※鶴川議員は議長のため採決に加わっていません。



賛否の公表

請願は不採択

議会運営委員会
録画配信QR

★本会義での賛否の結果は
9ページをご覧ください。



請願第1号

物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願



解説

請願とは

議会に対し、町の仕事に関することや地域の身近な問題について、文書で希望を述べる。請願には必ずその請願内容の趣旨に賛同する紹介議員の署名が必要。なお、議員の紹介がないものを陳情という。

3月5日に行われた定例会議（1日目）に提出された「請願第1号」は、担当である議会運営委員会に付託し、審査を進めることになりました。

3月14日に開催された議会運営委員会では参考人から趣旨説明及び参考人への質疑を行い、議員間での自由討議、委員会としての採択・不採択を決定。3月21日の定例会議（4日目）で委員会の決定内容を報告し、採決を行いました。

要旨

北海道では高齢化率が50%を上回る自治体もあり、年金の削減は地域経済を冷え込ませ、地方財政にとっても大きな問題である。このような事態を受け、全国政令都市20市は2017年に国に対して「国民年金に関する要望書」を提出し、「公的年金制度そのものが高齢者や障害者の生活を安心して支えるものとなるよう、老齢基礎年金等の支給額を改善されるよう要望」した。高齢者も若者も安心して老後を暮らせるように意見書を送付されるよう請願する。

- 請願者 全日本年金者組合 栗山長沼支部 稲毛 淳
- 紹介議員 重山雅世

質疑

斉藤隆浩委員 年金の支給額を上げるための財源としては、現役世代の保険料を上げるしかないのでは。新型コロナウイルス等の影響で現役世代も生活が厳しいと思うが、そのあたりの負担が増えることに対してはどう考えているか。

参考人 現役世代の負担を増やして、年金の支給額だけを増やすというようなことは考えていない。そうならない方法は国が考えるべき。



討論

反対

斉藤隆浩委員 根拠がそろっていないと思う。賛成するためには、数字の根拠も明確にしていかなければならない。いろいろなところから、持ってきた数字を張り合わせるだけではだめだと思う。

佐藤委員 数字の根拠について、もう少しきちんとしたものを出してほしいと思う。

結果

議会運営委員会では

不採択すべき

と決定した。

その後、本会議で議会運営委員会での結果を報告し、討論・採決を行いました。

本会議での討論

賛成

重山議員 現役世代の保険料負担を増やさなくても財源はある。今後の人口減少を踏まえれば、年金の積立金の取り崩しは可能。また、現役労働者の賃上げと非正規雇用の正規雇用化で保険料収入と加入者を増やして、財政を安定させるのが、根本的な対策だと思う。

反対

斉藤隆浩議員 年金受給者と現役世代が共に支えあわなければ、年金制度自体が崩壊してしまう。

年金給付額が物価、賃金上昇に比例した場合の財政負担は、現役世代が負うことになる。現役世代もギリギリの生活をしている中で、どちらか一方が救われる内容の請願には賛成できない。

議会広報コンクールで奨励賞を受賞！



※奨励賞：入選には及ばないものの、次回コンクールでの入選に向けて、一層の研鑽を深めるための賞。

「くりやまざかいだより」の編集を担当している広報小委員会のメンバー
 上段左から：藤本委員、堀委員、端委員
 下段左から：大櫛副委員長、佐藤委員長、置田委員

全国町村議会議長会が主催する第38回町村議会広報全国コンクールの企画・構成部門で「くりやまざかいだよりNo.174（令和5年2月1日発行）」が^(※)奨励賞を受賞しました。

前任の議員に負けないよう、今後もみなさまのお手に取っていただける、**見やすい・わかりやすい議会だより**を目指していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

政務活動費収支一覧

政務活動報告 QR



政務活動は、議員の政策調査研究等の活動です。すべての出張報告書や活動に関する領収書などは、議会HPで公開しています。

(単位：円)

番号	議員氏名	交付決定額	政務活動に要した対象経費				交付金 残 額
			調査研究費	研 修 費	資料購入費	合 計	
1	齊藤 義崇	240,000	59,070	126,868	105,304	291,242	0
2	置田 武司	240,000		89,090	18,007	107,097	132,903
3	重山 雅世	220,000		99,090	19,900	118,990	101,010
4	大櫛 則俊	220,000					220,000
5	堀 文彦	220,000		170,180	37,555	207,735	12,265
6	鈴木 千逸	240,000		143,655	101,111	244,766	0
7	佐藤 則男	240,000			14,113	14,113	225,887
8	齊藤 隆浩	220,000	59,070			59,070	160,930
9	端 師孝	220,000		34,079	30,000	64,079	155,921
10	藤本 光行	240,000		112,370	26,290	138,660	101,340
11	鶴川 和彦	240,000		72,780	84,682	157,462	82,538
合 計		2,540,000	118,140	848,112	436,962	1,403,214	1,192,794



ここが聞きたい

5 議員が一般質問

さとう のりお
佐藤 則男 議員

Q1. 带状疱疹ワクチン費用助成を **A.** 現時点では助成は考えていない

ほり ふみひこ
堀 文彦 議員

Q1. 義務教育の子ども世帯へ支援金を **A.** 現時点で支援する考えはない

Q2. 商店街活性化への今後の展望は **A.** 今までと同様に進めていく

しげやま まさよ
重山 雅世 議員

Q1. 国保税の子どもの均等割減免拡大を **A.** 制度の中で対応すべき

Q2. 防災対策にジェンダー視点の取り入れを **A.** 充分考慮する

Q3. 子ども達のための学校教育を **A.** 丁寧に進めていく

さいとう たかひろ
斉藤 隆浩 議員

Q1. ノラ猫対策費用を助成できないか **A.** 北海道などと連携を図っていく

Q2. パートナーシップ宣誓制度の導入は **A.** 今後調査研究していく

すずき ちはや
鈴木 千逸 議員

Q1. 奨学金支援制度の拡充を **A.** 助成内容の拡充を含め検討する

予防接種



佐藤則男 議員

Q：带状疱疹ワクチン費用助成を

A：現時点では助成は考えていない

質問趣旨 高齢化に伴

い、带状疱疹の発症や重症化を予防するうえでワクチン接種が有効と思いい質問した。

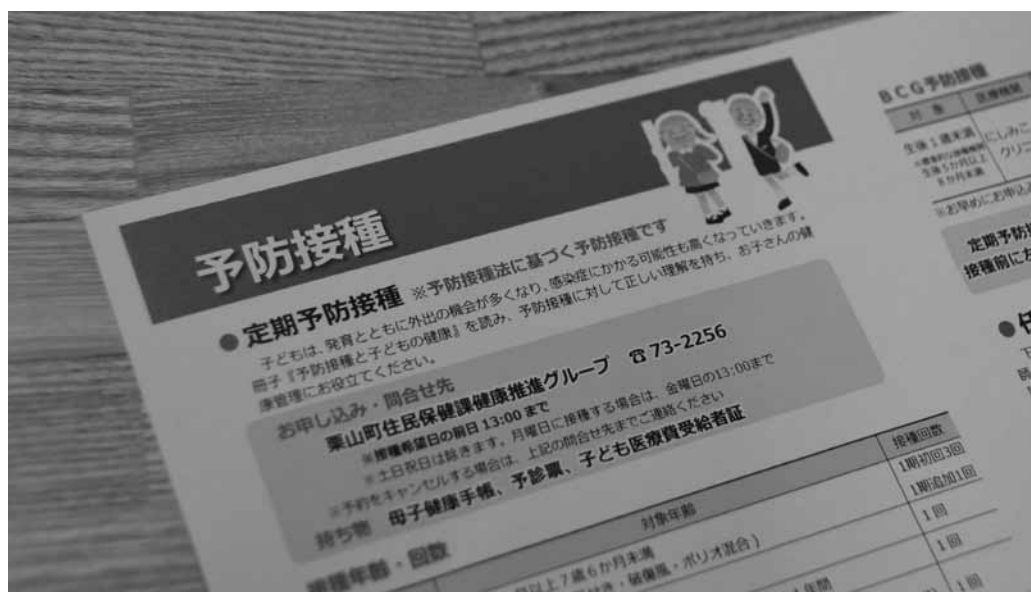
議員 幼少期、水疱瘡に感染後、ウイルスは身体の神経節に生涯隠れていて日本人成人の90%以上の方の体内に潜伏し、加齢や疲労、ストレスが原因で带状疱疹を発症する。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症し、約2割の方が3カ月以上痛みが続く带状疱疹後神経痛（PHN）の後遺症で日常生活に支障をきたすことがある。带状疱疹の発症を予防するには、過労やストレスをため込まないことと、50歳を過ぎたら重症化を防ぐうえでワクチン接種が有効とされている。現在、生ワクチンと带状疱疹発生抑制効果の高い不活化ワクチン（2回接種）があるが高

額なため躊躇する方がいると聞く。「健康寿命増進のために」带状疱疹ワクチン接種費用の半額を助成してはどうか、町長に伺う。

町長 本町では、これまで、健康教育や健康相談などを通じて感染症の発症や重症化の予防の普及啓発に取り組んでいる。また、予防接種法に基づいた定期接種を基本とした、集団予防を目的とするA類疾病については全額、個人の予防を目的とするB類疾病については半額を目処に費用の助成を行ってきた。带状疱疹ワクチン接種については、予防接種法に基づかない任意接種であるが、現在、国の「厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会」において定期接種化に向けた検討が進められている。現時点においては接種費用の助成は考えていないが、引き続

き、国の動向を注視すると共に、他自治体の助成状況等の把握に努めている。

感想 病になってから治療するのではなく、病を未然に防ぐことが本当に大事だと思いい質問したが、力及ばずでした。また頑張ります。



予防接種は必要性、効果、副反応等を正しく理解する必要がある

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されております。ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



堀 文彦 議員

教育支援金

Q：義務教育の子ども世帯へ支援金を

A：現時点で支援する考えはない

質問趣旨 物価高に賃金
が追いつかない状況にあ
り、教育費の補助を一刻
も早く行うよう質問し
た。また、駅前商店街の
既存店舗がこれ以上失わ
れないよう質問した。

議員 新型コロナウイルス
感染症拡大や、様々な
情勢を起因とする物価高
が現在も続いている。日
経株価は過去最高値を記
録しているが、庶民には
好景気という実感はな
く、日常生活をいかに切
り詰めて考えなければなら
ない日々を送っている。
しかしながら教育にか
かる支出については、
家庭の工夫で削減が出来
ない。そこで家計支援策
として義務教育の子ども
を養育する家庭に、子ど
も一人あたり1万円の支
援金を毎年4月に支給し
てはと考えるが町長の見
解を伺う。

町長 本町ではこれま



町では子育て家庭への様々な支援策を実施している

で、学校給食の無償化や
食料費高騰分の支援、子
どもの医療費助成の町外
医療機関への拡充など、
社会情勢やニーズに即し
た子育て家庭への支援策
により、経済的な負担軽
減を行ってきた。また、
経済的な理由により児童
生徒の小中学校への就学

が困難な家庭に対して
は、学用品費等の一部費
用援助を行っている。
家庭の経済状況によら
ない「義務教育家庭への
教育支援金」について
は、国の政策として実施
すべきと考えているの
で、町として支給する考
えはない。

商店街

Q：活性化への今後の展望は

A：今までと同様に進めていく

議員 ①空き店舗を一時
的に町有化し、一定のリ
フォーム後に販売・賃貸
してはどうか。

②地域資源を活用した商
店街イベントについて、
行政主導で企画を行って
はどうか。

③商店街活性化のコンサ
ルタントによる学習機会
を、行政主導で提供して
はどうか。

町長 ①現在、初期投
資費用の一部を助成す
る「空き店舗活用支援事
業」を実施している。

町による買い上げにつ
いては、その後の管理や
販売等に至らなかった場
合のリスクも懸念される
ことから、引き続き現行
の支援制度により対応し
ていきたい。

②商店街イベントは、商

店街組織が主体となり、
また、商工会議所と町
も、連携・協力しながら
実施しており、今後も同
様に進めていきたい。

③これまで、商工会議
所、商店街組合が主体と
なり、多様なテーマで学
習機会が提供されてい
る。引き続き、商工会議
所、商店街組合による多
様な学習機会が提供され
るよう、連携・協力して
いく。

感想

国や道が政策とし
て早急に取り組めない事
は、地方自治体が先進的
に進める必要があると考
えていたが、実現出来な
かった事を残念に感じ
る。九州の豊後高田市の
様な手厚い教育対策の実
現に向けて、今後も働き
かけていきたい。



重山雅世 議員

Q：子どもの均等割減免の拡大を

A：制度全体の仕組みの中で対応すべき

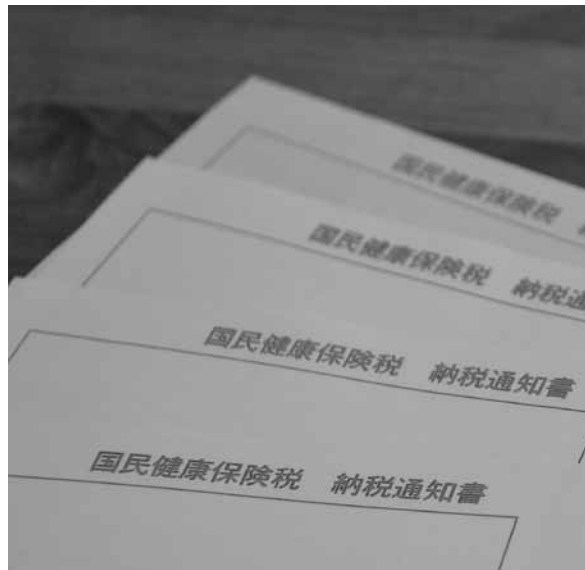
町長

制度全体の仕組み

議員 令和4年4月、未就学児の子どもの均等割が半額減免された。道内では赤平市、芦別市等が均等割全額免除、旭川市、大雪地区広域連合（東川町・美瑛町・東神楽町）は、高校卒業まで範囲を拡大し、未就学児と同等に2分の1を減免し、軽減対象世帯は、軽減後の均等割を2分の1にしている。医療費助成実施の自治体に対する国保の国庫負担を減額するペナルティー（本町237万円）が令和6年廃止されるので基金を取り崩すなどし、本町でも減免拡大の実施を求める。

質問趣旨 子どもが増えるほど負担が重くなる子育て世代支援に逆行する均等割、制度の矛盾を地方から変える必要があるとの考えで質問した。

こんな質問もしました！
議員 小中学校の統廃合について、住民合意のないゴールありきの進め方はすべきではないと思うが、見解を伺う。



加入者数に応じて負担することとなっている均等割

教育長 様々な角度から検討が必要であることは十分理解しているところであり、丁寧に進めていくことが大切であると考えている。

感想

5年前と同じ答

の中で対応していくべきものと考え、引き続き町村長会等と連携を図り要請していく。
基金を取り崩し、減免に充てるという考えはない。

弁。既に軽減している先行自治体の基金保有額が本町より少ない点や、軽減した場合の財源を示し求めたが、令和12年道府県単位化に向けて基金保有すると答弁。諦めずに世論と運動を強め実施させるまで力を尽くす。

防災対策

Q：ジェンダー視点の取り入れを

A：充分考慮する

議員

①「栗山町防災会議」の構成に女性人数を増やしては。

防災ヘリコプターによる輸送、救助等を行う。

②「スフィア基準」やTKB+Wとジェンダー

⑤道、他市町村、自衛隊への支援要請により、飲料水の供給、給水車及び

視点を取り入れた避難所整備の取り組みは。

人員等の応援を求めるほか、災害協定締結企業等に

③④道路寸断で自動車が使えない場合、孤立集落

に対し必要物資等の提供を依頼する。

⑤長期間断水した場合の対応は。

⑥市町村のみでは対応できない状況と町長が判断した場合に要請する。

⑥広域応援はどのような場合要請するのか。

「スフィア基準」とは

災害や紛争の被災者に対する人道支援活動のため策定された「人道憲章と人道対応に関する国際的な最低基準」の通称。

「TKB+W」とは

被災者を守るキーワード、「トイレ、キッチン、ベッド+暖かさ」の頭文字。

解説





斉藤隆浩 議員

動物保護

Q：ノラ猫対策費用を助成できないか

A：北海道などと連携を図っていく

質問趣旨 町広報やキヤッチボイスなどで定期的に掲載されているノラ猫対策について、またノラ猫がいる反面、ペットが家族化していることについて質問した。

議員

① キャッチボイスでもノラ猫を増やさないために手術代の予算の提案がされているが、不妊去勢手術費用などノラ猫対策にかかる費用の助成を考えると、はい。

② 飼い主のいない猫を捕獲し不妊去勢手術後地域に戻し、その後は適切な餌やりやトイレ管理をし、一代限りの命を全うしてもらう活動の取組が有効と考えるが、いかがか。

③ 不妊去勢手術を行うには町内に動物病院は欠かせないものであり、また現在猫などの動物を飼養している方のためにも動物病院を誘致

してはと考えるか。いかがか。

町長

① ② ノラ猫対策については都道府県で対応するものであると考える。将来的に栗山町の制度として、地域一体となつて地域猫活動について検討していきたい。

③ 行政として企業誘致のようにならざるを得ないが、調査をして行政に何ができるのか考えていきたい。



ノラ猫を増やさないために…

LGBTQ+

Q：パートナーシップ

宣誓制度の導入は

A：今後調査研究していく

でも理解を深めてもらう取り組みの考えは。

議員

① 栗山町としてパートナーシップ宣誓制度の導入の考えは。

② 現在、栗山町役場ではLGBTQ+も含め多様性社会に対する理解を深めるための研修は受けているのか。また、企業や町民に対し

町長

① 今後調査検討していく。

教育長

子供たちには道徳や保健の授業で取り組んでいる。また制服についてはジェンダー平等にすでに取り組んでいる。トイレも含めた施設関係はできることからやっていく。

感想

今回の一般質問は声なき声を拾い、行政に伝える内容だった。ノラ猫対策についてもパートナーシップ宣



誓制度についても、すべての住民が賛同してもらえる内容では無いということを知り、少数派の人でも住みよい栗山町にするために今回のテーマを選択した。栗山町の回答も概ね前向きでしたので安堵している。今後も国や都道府県でなければ出来ない事と栗山町として取り組んでいける事の線引きをしっかりとした中で、栗山町で出来ることに限っては実現に向けて積極的に動いていきたいと思う。

Q：奨学金返済支援制度の拡充を

A：助成内容の拡充を含め検討する

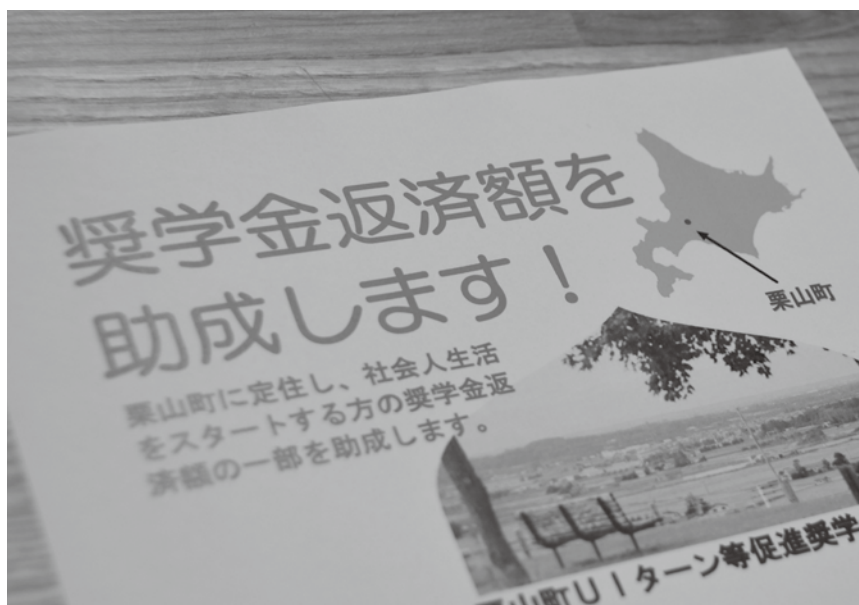
定
住
促
進



鈴木千逸 議員

議員 奨学金返還支援制度については、近隣の長沼、南幌などでは、「さっぽろ圏奨学金返還支援事

質問趣旨 大学生を抱える子育て世代への定住促進施策について、奨学金支援という切り口で確認してみた。



奨学金返済支援制度は若者の定住推進の施策の1つ

業」があり、就職後2年目～4年目に年間最大18万円を3年間（最大54万円）支援する制度を設けている。
栗山町では「栗山町Uターン等促進奨学金返済助成制度」を取り入れており、前年度中に返済した奨学金の2分の1

（上限15万円）を3年間助成している。道内の自治体の中には、奨学金返済支援の金額の上限を年18万円、期間を10年で合計180万円に設定している事例や、独自の返済免除の奨学金制度を設けている事例もある。どの自治体も若者の定住促進に向けた切実な施策を講じている。

町長 本町においては、Uターン等による町内への就職や起業された若者の方を対象とした奨学金返済助成制度を、令和元年7月に創設した。これまでの資格登録者は7名で、うち4名が転出や退職で資格を喪失し、定

住率は42%にとどまっているが、奨学金返済支援は道内において、「さっぽろ圏連携中枢都市圏」の12市町村のほか、11市町のみの実施となっており、移住相談の対応時など、重要な支援制度となっている。

道内において、本町より充実した内容で実施している自治体もあり、助成額の拡充など検討を行ったが、これまでの実績から、同様の内容で延長することとした。引き続き、本制度による定住率や他自治体の動向も踏まえつつ、次期の制度継続（見直し）に向け、助成内容の充実を含めた検討を進めていきたい。

感想 栗山町で大学生を育てる、あるいは大学卒業後も栗山に定住することにより、メリットを感じられる制度内容の充実について対応を注目して参りたい。

議会中継

をご自宅で見ることができます

議会では、インターネットによるライブ中継（生中継）と録画配信をしています。栗山町議会ホームページからご覧ください。

栗山町議会

検索





堀 文彦 議員

提出日

令和6年1月12日

回答日

令和6年1月23日

Q：くりふとの夏季利用者拡大について

「栗山煉瓦創庫くりふと」の夏季利用者の拡大に向けて、現状としてバイク旅行者が当該施設の駐車場がアスファルト舗装のため、バイクのスタンドがアスファルト路面に穴を開ける事を避けるために駐輪出来ない状況を目にすることがあり、利用がなされていないのではと懸念している。

そこで、当該施設の屋外正面玄関前駐車場と、栗山駅南側駐車場の間には、わずかな幅ではあるが砂利の部分があり、その部分をコンクリート舗装し、バイクの駐輪場を設置する事で夏季の利用者及び交流人口拡大につながると考える。当該施設の利用者拡大は喫緊の課題であるため、令和6年の夏までに早急に対応をすべきと考えるが、いかがか。

A：段階的な環境整備と状況把握に努める

現在、アスファルト路面が高温の時に長時間駐輪することで、バイクスタンドが路面にめり込み穴が開くことが要因となり駐車できなかったという事案は確認されていない。

また、利用者アンケートの結果も含め、施設に対する苦情やご意見などが寄せられたこともなく、現時点ではコンクリート舗装によるバイク駐輪場の必要性や緊急性に対する判断材料が乏しい状況にある。今後においては、バイクスタンドによりアスファルト路面を傷めないためのプレートの貸し出しや、バイク優先駐輪スペースの設置など、段階的な環境整備と状況把握に努め、改めてコンクリート舗装によるバイク駐輪場の必要性について検討していきたい。



栗山煉瓦創庫くりふと



解説

文書質問とは

議会の機能向上を図るため、議会が開催されない月でも質問を行うことができる「文書質問」を導入している。

「文書質問」は定例会議開催月（3月、6月、9月、12月）以外の月に行い、内容は執行機関の長（町長等）の所信を問う内容でなければならない。



文書質問 QR

ギカイの見方 - 委員会レポート -

総務教育常任委員会・産業福祉常任委員会・広報広聴常任委員会では、毎年それぞれが所管する町政課題について調査を行っており、3月定例会議で調査の報告が行われました。



委員会の様子

総務教育常任委員会

▼学校教職員の働き方改革について

学校の部活動の地域移行については、チーム編成など南空知1市4町で検討する取り組み等、進めてもらいたい。

また、中学校の教職員の時間外労働が多いこともあり、町独自で職員を雇用して教職員の負担軽減を図る取り組みの検討が必要である。なお、教職員に対しては、今後も現状の把握と分析を継続し、管理者としてのマネジメント強化を望む。

▼社会教育施設の使用実態と課題、今後の展望について

施設の使用実態は下降気味のため、今後使用者増の取り組みを進めてもらいたい。また、公共施設管理計画では長寿命化を図る計画だが、老朽化が進んでおり、現実的には難しい施設もあると感じる。今後は、学校教育施設等の類似施設も含め、効率的な運用を協議し検討願う。

▼若者定住事業の実態と課題、今後の展望について

栗山町での教育、福祉の状況がわかるデータを提供し、アピールしていくことで、さらなる移住・定住者の増加を期待している。今後は、観光事業と連携し、町民とふれあう移住・定住のプロモーション事業の取り組み、更に他市町村から栗山町に働きに来てくれる方々への定住促進への取り組みを望む。

産業福祉常任委員会

▼町内の交通機関の実態について

タクシー運転手不足への課題対応策や運行支援策について、近隣町村と連携・協議する取り組みを図りたい。

町営バスは、今後においても、地域の実情を把握し、デマンド地域の拡大や利便性の向上を図る取り組み、また、中学生の通学に係る利用料金についても検討を望む。

▼子育て家庭の現状と課題について

現地調査を行った保育園では、経営が厳しい状況であるが、地域には欠かせない保育園でもあることから、今後においても確認をしていく。また、誰もが安心して産み、育てられる教育費の支援について検討し、これらの対策が栗山町への移住・定住につながることを。



現地視察（継立まつば保育園）

▼都市再生整備計画事業について

今回の不適正な事務処理が発生した要因としては、チェック体制の不備が要因であると考えられる。今後においては、必ず二重三重のチェックをする体制の構築と、本事業のように長期間にわたる事業の場合、専門的な知識を持つ職員の任用を含め、体制づくりを図ることを。

広報広聴常任委員会

▼くりやま議会だよりの発行と広報機能の充実について

町民が手に取って読みたくなる議会だよりとなるよう引き続きリニューアルに取り組み。併せて、フェイスブックの活用方法を研究し、広報機能の充実を図っていく。

▼議会広報・広聴機能の充実について

広聴活動の重要な手段として、これからも議会報告会と出前報告会を継続していく。また、広聴活動の新たな取り組みとして、町民のみなさんとの茶話会を開催するため、議会モニターと茶話会を開催し、開催の方法・手法などの検証を行った。今後においても、町民と対話する場を確保するため、調査・研究を続けていく。

議会報告会

あなたの声が町を動かす

意見・要望を町長に提言

令和6年2月5日から2月16日までの日程で、町内12会場において議会報告会を開催し、延べ159名の町民の方々に参加いただきました。

報告会では、町営バス路線等の見直し、除排雪体制等の見直しに係る経過、ごみ焼却処理開始による分別の変更、行政運営に関する調査特別委員会の報告について説明し、意見交換を行いました。

それぞれのテーマに対し、数多くの貴重なご意見をいただきました。これらの意見や要望は広報広聴常任委員会においてまとめを行い、提言書として、鵜川和彦議長から

佐々木学町長へ手渡ししました。

提言書の概要

①町営バスの運行について

現在、町営バス見直し庁内検討委員会において検討がなされ、見直し案が出されているが、今後においては、特に高齢者のニーズを把握するとともに、運行時間、バス停の場所、運行路線について継続して検討されることを求める。

また、高齢化が今後進むことが想定されることから、町営バスの利用も困難になる高齢者も視野

に入れながら、交通弱者に対する施策について検討願う。

②除排雪について

除排雪については、「除排雪事業あり方検討会議」が設立され、快適な生活環境に向け、さまざまな改善点が示されたが、自然条件に左右され一律に解決される課題ではない。

特に、通学路の歩道の除雪については、通学に支障が出ないような除雪を基本とされたい。

③栗山高等学校存続にむけた支援について

栗山高等学校の存続・

生徒確保に向けて、現在、高校の魅力化を図る一つの手法として女子硬式野球部の支援をしているが、町の支援策としては、栗山高等学校の魅力化向上のため今後においても十分に研究されることを求める。

提出した提言書や実施結果（参加人数）、当日配布した資料は、議会HPで公開しています。



議会報告会 QR



鵜川議長から佐々木町長に提言書を手渡しました（3月29日）

議会への要望と回答

町への要望と回答

Q…農林畜産業においては、近年の物価高騰による経費の増大や所得の減少、奨励金等の廃止による経営不振、又後継者なり手不足など様々な問題がある。食糧自給率を安定させるべく、これらの問題解決のために、国政等に働きかけてほしい。

A…その時々状況において、国へ意見書を提出し、要請している。今後も状況を判断し、栗山町民の福祉の向上を目指し、国へ意見書を提出していく。

Q…議会報告会のあり方として、研修などで学習した事、又、実績等を報告すべきでは。

A…議会報告会の内容については、今後検討していく。

Q…利用がされていないバス停小屋（スクールバス小屋）の撤収希望調査はしないのか。また、いらないバス停小屋を必要とされている場所に移動することはできないのか。

A…バス停小屋（スクールバス小屋）の状況やバスの乗降調査を行い、その結果を踏まえて撤収及び移動について検討していきたい。

Q…シェアサイクルは今年中に進展はあるのか。

A…令和元年度より3か年実証実験を行い、令和3年度には町内に3か所のサイクルポートを設置したが、利用実績は大きく伸びなかった。

現在策定中の観光振興計画の周遊促進事業のひとつとして令和7年以降の実施を検討している。

例えば、ハサンベツ里山地区を訪れる際の環境に配慮したモビリティとして利用するなど、利用目的の明確化や地域の課題解決に貢献できるように検討を進める。

Q…除排雪事業あり方検討会議の委員構成に、日出連合町内会も構成員となっているが、連絡がないのはどうなっているのか。

A…委員の委嘱にあたり、除雪体制の見直しに至る経緯等についてご説明させていただくため、連合町内会長に複数回お電話させていただいたが、事前に説明をする機会を逃してしまい、文書による連絡も行えなかったことについて深く詫び申し上げる。

なお、去る3月30日に連合町内会長宅を訪問し、委員の委嘱依頼等お話しさせていただき、ご了承いただいた。

Q…栗肥土の生産中止により下水道汚泥の行き先はどうなるのか。

A…肥料製造のための材料として、民間企業に受入れしてもらう。

Q…日出生活館の移転建替場所について、日出生活館は日出の中心であるため、十分に地元の意見を聞いてほしい。

A…令和5年12月に町内会役員へ事業説明し、令和6年1月に連合町内会の新年総会で事業説明及び移転場所（案）について説明させていただいた。

今後においても、地域の皆様から建物の規模や移転場所に関する意見をいただきながら、関係課と連携し計画を進めていく。

Q…事業主に対する助成金・補助金の情報についてわかりにくいので、情報をもっと提供してほしい。

A…令和5年度においては、エネルギー価格高騰対策支援金として、事業者支援を図ってきた。支援制度については、町広報やホームページでの周知、対象となる事業者へ郵送案内をしており、商工会議所とも連携を図りながら情報提供している。

今後においても、関係機関と連携を図りながら、適時、丁寧に周知していきたい。

Q…行政側からの回覧板の依頼について、週単位か月単位で集約して依頼してほしい。

A…できる限り皆様に負担をおかけしないよう、水曜日にとまとめて発送するようにしているが、徹底されず大変ご迷惑をおかけしている。

改めて、職員へ周知、徹底する。



南部公民館



日出生活館



鳩山中央公民館

栗山町で頑張っている人をクローズアップ

輝く栗山人！

Vol. 1 ^{にし}西 ^{むら}村 さやか さん（桜丘）

6月定例会議の開会日

6月18日～

議会の予定

6月 14日（金） 議会運営委員会

6月 18日（火） 6月定例会議

～ 21日（金）

※全て9時30分開会予定です

議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局または議会ホームページでご確認ください。



議会に行こう！

傍聴 は議会活動にふれる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを、ぜひご覧ください。

会議当日の受付で傍聴できますので、役場旧庁舎3階の傍聴席入口まででお越しください。

「写真と音楽でまちを笑顔に」

地域おこし協力隊の西村さやかです。私は情報発信プランナーとして現在、町の公式インスタグラム「くりやまのおと」を活用し、写真を通じて町の魅力を伝える情報発信に力をいれています。

これに関連して、昨年からカメラ好きな方々を町内外から募ったフォトイベント「くりやまカメラの会」を企画・開催しており、「楽しい」をモットーに主体性を持ち発信できるコミュニティづくりを目指しています。これまでに、まち歩きしながらの撮影会や栗山の食材を使用したスイーツ撮影会、講師を迎えてのフォト講座などを行ったほか、前はNPO法人雨煙別学校とのコラボ企画として、御大師山をガイド付きでスノーハイクしながら撮影を楽しみました。展望台でのカフェタイムでは、栗山の街を一望しながら笑顔溢れる時間となりました。参加者が撮影した写真はインスタグラムに投稿していただきましたので、ハッシュタグ「#くりやまのおと」で検索してみてください。

また、個人的な活動として私は音楽活動をしています。所属する「木箱」ではメジャーデビューを経て、自主レーベルから楽曲をリリースしたりライブを道内外で行ったりしています。町内では乳幼児や高齢者に向けてのライブも経験することができ、世代を越えて音楽で一つになれることに喜びを感じています。新たな経験をこの栗山町でたくさんさせていただき大変感謝しています。これからも「笑顔」を忘れず精力的に活動していきます！



★令和6年度の表紙のテーマは

「輝く栗山人！」です。

栗山町で頑張っている人、団体が登場します。次号もお楽しみに！

くりやまざかいだよりNo. 179

2024年（令和6年）5月1日発行

発行／北海道栗山町議会

編集／広報広聴常任委員会

（広報小委員会）

委員長／佐藤則男 副委員長／大槻則俊

委員／置田武司 堀文彦 端師孝 藤本光行

〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252

Tel 0123-73-7517/Fax 0123-72-1233

<https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/gikai>

E-mail gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

印刷／山東印刷株式会社



間伐で未来につなぐ北の森